

## シンガポールでの石川県プロモーションについて

### シンガポール旅行会社との能登ディナーの開催について

現在、全世界的に渡航が制限されている中、ここシンガポールの旅行会社においても、旅行したくても出来ない顧客に対するバーチャルツアーの開催や様々な国の特産物を店頭またはオンラインで販売するなどの取り組みが行われています。こうした中、シンガポールのローカル旅行会社 Amala Destinations とシンガポールのアーティストによるファミトリップ（ファミリアライゼーショントリップ：観光地の誘致促進のため、メディアやブロガーなどに現地を視察、情報発信して貰う観光プロモーション）などを企画運営する Miso Consultation が協力し、能登の食材を中心に使用した能登ディナーを開催しました。

この企画は、能登ファンである Amala Destinations の社長と去年シンガポールのアーティストと能登を訪問した Miso Consultation の社長と小職とで昨秋打ち合わせをしたことがきっかけで開催が決まったものです。会場は石川県で修行を積んだシェフがいらっしゃる日本人会の茜レストランで開催し、食材や調味料（いしり、能登の塩）などは石川県から空輸で取り寄せるなど本格的な料理を提供しました。

参加者の中にはプライベートジェットを保有する VIP や飲食店オーナーのほか、去年石川県に訪れたシンガポールのアーティスト夫妻も参加しました。当日は石川県の日本酒で乾杯し、全7品の料理が参加者に振舞われ、小職も Amala Destinations の社長と一緒に、提供される料理や、使用されている食材について配付した資料や写真などを用いながら参加者に説明しましたが、旅行会社や日本人からの説明よりも、シンガポールアーティスト夫妻（シンガポール人）が自ら能登を訪問したときの感動をお話しいただいたことが一番参加者の胸に響いていたのではないのでしょうか。

参加者からは「能登の食材を使った料理はとても美味しかった。旅行ができない時に、このような企画をしてくれて感謝する」「渡航再開になったら、能登に旅行して美味しい食事をしたい」などのコメントをいただきました。

情報発信に加え、食事や体験などは記憶により深く残るので、一人でも多くの方に石川県に来ていただくきっかけづくりとして、こうした取り組みを重ねていきたいと考えています。

余談ですが、食事中調味料として出された少量でも非常に辛い「ゆうなんば」（柚子の皮を能登の塩と唐辛子で漬け込んだ調味料）はローカルの方々にとっては全く辛くないとの反応で、味覚の違いを改めて実感しました。



前菜（能登なまこや干しくちこ、こんかいわしなど）



能登のイカや甘えびのお刺身盛り合わせ



参加者に配付したメニュー及び食材説明の冊子

#### 自治体がコラボした Facebook Live の開催

前回の駐在員だよりでもお話ししました、石川県、北海道、静岡県の日本酒を飲み比べていただきながら、観光名所や食を紹介する「ご当地利き酒コラボプロジェクト in シンガポール」（1月18日から2月17日の1ヶ月間、飲食店10店舗で実施）のPRのため、今回初めての取り組みとして参加3自治体がFacebook LIVEを同時配信しました。

より臨場感あふれるFacebook Liveとするため、利き酒を販売している店舗の一部を会場としてお借りし、実際に店舗で提供されている料理と合わせて各日本酒の飲み比べをしながら、お酒の紹介や各地域の特徴を紹介しました。

これまでのFacebookの投稿やポスター等のプロモーションは各シンガポール事務所長が登場してきましたが、今回のFacebook Liveは、シンガポール人の味覚で感じたことを、より多くのシンガポール人に訴求することを目的に、各事務所のナショナルスタッフ（シンガポール人スタッフ）が出演しました。閲覧者からは「（このLiveを見て）石川には素敵なガーデンがあり、素敵な地域だと感じた」「石川に行ったことがなかったが、コロナが終わったら石川を訪問したいと思った」といった意見のほか、過去に石川に旅行に来た経験がある方からは、「近江町市場や温泉に朝一など、

素敵なお店がたくさんある。来年、大好きな石川に卒業旅行に行きたい。」「幸運になれるよう旧正月に向けて金箔製品を購入したい。」など熱烈的なコメントをいただきました。こうした配信を通じて、石川県の商品はもちろんですが、アフターコロナに向けた石川県を知っていただく地道な活動も増やしていきたいと考えています。



気合いを入れる出演者（左から、石川県、北海道、静岡県）



Facebook Liveの様子

#### 高島屋 Chinese New Year Fair 出展について

旧正月（春節）に合わせて、シンガポール高島屋開催のチャイニーズニューイヤーイベントに石川県ブースを出展しました。シンガポールは人口の70%以上が中華系であるため春節が新年の始まりとして位置づけられ、一大イベントとなっています。例年、旧正月に親戚の家に集まることが風習となっていますが、コロナの影響で、1日

に家に招く人数は合計8名までという制限が加わったほか、職場での旧正月の新年会も禁止されたため、緊縮ムードになると想定されていましたが、旧正月の購買意欲はすごいもので、旧正月前日の11日は、石川県ブースは人で溢れ、昼食をとる暇もなく、スタッフ総出で接客に当たるほどでした。

今年一年皆さまにも幸多からんことをお祈り申し上げます。新年快乐、万事如意



買い物客で賑わう高島屋チャイニーズニューイヤーイベントの石川県ブース